

プログラム名	国際医療福祉大学三田病院 後期研修プログラム（がん治療コース）											
プログラム概要	<p>がんの標準的な治療法は、「外科療法(手術)」、「放射線治療」、「化学療法(抗がん剤)」の3つに大別されます。また、がん患者さまは、癌性疼痛や身体的苦痛を伴っている場合も多く、早期から「緩和ケア」の介入が必要と考えられています。このプログラムでは、外科医・泌尿器科医・頭頸部外科医・婦人科医・腫瘍内科・放射線治療医・緩和ケア内科を目標とする医師の方々が1年を通じて手術療法、放射線療法、化学療法、緩和ケア等の専門的な分野を横断的に学べる環境を提供いたします。</p> <p>本プログラムは、がん治療医を志す若手医師のために設定したプログラムであり、がん治療に係る専門的知識の修得や治療方法を幅広く経験することを目的としますので、各種学会の定める専門医の取得に直接結びつくものではありません。</p>											
対象	がん治療に関連する知識の修得を目指す、3年目～5年目位までの医師											
募集人数	若干名											
研修期間	原則1年間											
基本的な研修計画	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	12ヶ月
	ホスト診療科での基本研修		手術療法 ローテーション			放射線治療		化学療法 緩和ケア研修		ホスト診療科での 専門研修		
※研修状況に即して、ローテーション等の組合せは前後します。												
具体的なプログラム内容	<p>▶ホスト診療科での研修</p> <p>【期間】 基本研修/1～2ヶ月 専門研修/3～4ヶ月</p> <p>【内容】 化学療法・緩和ケアは単独で学ぶことはできないため、4ヶ月は一般消化器外科・消化器内科・頭頸部外科・呼吸器外科・泌尿器科・婦人科から自分の希望で期間と分野を選択していただき、その中で学んでいただきます。前述した診療科からホスト診療科を決め、所属する診療科の一般的な診療内容に従事しながら、がん治療の基本的な診療を学びます。また、この期間に当院の診療体制を把握し各診療科やメディカルスタッフとの円滑なコミュニケーションが取れるようにします。</p> <p>また、研修の後半には自己が目指す専門知識を更に高めるために、ホスト診療科での重点的な研修を行います。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 基本研修: 当院の診療体制を把握し、各診療科やメディカルスタッフとの円滑なコミュニケーションが取れる。 * 専門研修: 各診療科で技量に合わせて手術の術者・助手を行う。 <p>▶手術療法分野</p> <p>【期間】 約3ヶ月</p> <p>【内容】 一般消化器外科・頭頸部外科・呼吸器外科・泌尿器科・婦人科を2週間ローテーションして、実際に手術に入っていただきます。そこで各分野の手術を間近で見学し現在の手術療法について学んでいただきます。また、各分野の講義を受講していただき手術の基本を学びます。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 各診療科のがん治療に係る手術を一通り学ぶ。 * 手術適応をスタッフとディスカッションする。 * 実際の手術で術者・助手を務める。 <p>▶放射線治療分野</p> <p>【期間】 2ヶ月</p>											

	<p>【内容】 放射線治療部に 2 ヶ月在籍し、患者さんの病変(腫瘍)の種類やその広がりに応じた最適な治療計画を指導医とともに検討し、放射線を照射する治療を見学します。放射線治療の利点・欠点等を講義という形で学びます。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 患者の病変(腫瘍)の種類やその広がりに応じた最適な治療計画を一人でたてることのできる。 * 放射線治療の合併症を学ぶ。 <p>▶化学療法(抗がん剤)分野</p> <p>【期間】 1ヶ月</p> <p>【内容】 化学療法室に1ヶ月在籍し、化学療法室責任者とともに、各分野の化学療法を学びます。また、一般的な化学療法から特殊な治療法の講義を受講します。また、血液内科(悪性リンパ腫)に1ヶ月在籍しその治療方法を学びます。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 抗がん剤に関する専門的な知識を修得する。 * 抗がん剤の合併症を学ぶ。特に漏出に対する基本手技を実践する。 <p>▶緩和ケア分野</p> <p>【期間】 1ヶ月</p> <p>【内容】 ホスト診療科に所属しながら、緩和ケアチームに 1 ヶ月在籍し緩和について学びます。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 緩和ケアに関するチーム医療などの修得 * オピオイドに関する知識の修得 * 緩和ケア研修会の受講(修了証の受領)
<p>コース修了時の最終的な到達目標など</p>	<p>現在のがん治療は、集学的治療と早期からの緩和の介入が必須である。本コースでは、各分野の集学的治療と緩和を横断的に学ぶことで、治療に対する各々の視野を広め、医師としての発展を期待するものである。</p>
<p>指導医師</p>	<p>指導責任医師:池田副院長</p>
<p>後期研修キャリア形成/関連する学会認定など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶自己の最終的な到達点を決めた上で、所属学会を決めて下さい。 ▶当院は、以下の関連学会の施設認定を取得しています。 日本内科学会認定医制度教育関連病院 日本消化器病学会専門医制度認定施設 日本呼吸器学会認定施設 日本腎臓学会研修施設 日本肝臓学会認定施設 日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設 日本外科学会外科専門医制度修練施設 日本消化器外科学会修練施設 呼吸器外科専門医合同委員会関連施設 日本気管食道科学会認定気管食道科専門医研修施設(咽頭系) 日本乳癌学会認定医・専門医制度認定施設 日本がん治療認定医機構認定研修施設

	<p>日本食道学会認定食道外科専門医認定施設 日本大腸肛門病学会認定施設 日本消化器外科学会認定施設 日本頭頸部外科学会認定頭頸部がん専門医研修施設 日本核医学会専門医教育病院 日本放射線腫瘍学会認定協力施設 日本泌尿器科学会専門医教育施設</p>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶研修期間内に開催される、当院主催の「緩和ケア研修会」は必ず受講する。 (他病院で受講していれば、この限りでない。) ▶キャンサーボードなどがん診療に関するカンファレンス、横断的な職種で構成される院内の委員会などには、必ずオブザーバー参加する。その他、CPC、剖検なども参加。 ▶研修の習熟度に応じて研修期間を延長することもできる。 ▶研修修了後は継続して当病院及び当グループ病院で、希望に応じ継続して勤務することも可能。